都立国際高校　年間授業計画／Tokyo Metropolitan Kokusai High School　Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度	(Academic year)	令和7年度 (2025 年度)
開講学科	(Department)	国際学科国際バカロレアコース／IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科	(Subject Area)	国語
科目	(Subject)	現代の国語
学年･クラス	(Grade･Class)	１学年
単位数	(Number of units)	2
使用教科書	(Text Books)	現代の国語（第一学習社）
校外学習	(Field trip)	なし

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

【知　識　及　び　技　能】(Knowledge and Skills)
生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)
生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
･実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ･様々な知の領域において言語が果たしている役割を意識し、その役割について考察することができる。 ･書かれたテクストをはじめ、聴覚的、視覚的、または聴覚的かつ視覚的なテクストを分析し、自らの理解を示すことができる。	･論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ･正確かつ流暢に言語を使用しつつ、様々なアイデアを表現したり、他者の考えに応答したりすることができる。 ･プレゼンテーションやディスカッションを通して、論理的で説得力のある言語使用ができるようになる。	･言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 ･多様なコンテクストにおける言語活動を通して、IBにおける「十の学習者像」に示された目標を実現するように努めることができる。 ･言語の探究を通して、学習へと向かうための力（IBにおけるATLスキル）を確実に身に付ける。

○ 授業計画 (Course schedule)

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域 話・聞	書	読	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	Alotted hours 配当時数
1学期 (1st semester)	**○伝わるスピーチ、伝わらないスピーチープレゼン・ノート** **【知識及び技能】** ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使う。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文，話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。 **【思考力、判断力、表現力等】** ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。 **【学びに向かう力、人間性等】** ・日常の言葉遣いなど言語生活に関心をもち、言語文化に対する関心や理解を深め、国語を尊重する態度を育てる。	○オリエンテーション 授業の進め方について説明する。DPに進むためにFYで習得しておくべき知識や技能について説明する。 ●情報・主張を効果的に伝える。 ●情報・主張を正確に、的確に理解する。TEDxTokyo等。 総括的評価課題：初見プレゼン分析 ・ポートフォリオの活用 ・模造紙や付箋の活用 ・Google Slideの活用 ・One Driveによる成果物の共有	○			❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。	○	○	○	6
				○		❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	6
	定期考査なし Examination	**定期考査なし**								
1学期 (1st semester)	**○いつ、どこで、何を、どう使うか？ ― スタイル、言葉遣い、文体** **【知識及び技能】** ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解する。	●評論、スピーチ、講義、対話、SNS、などの多様なモードの言葉の特徴と機能をそれぞれ分析、考察する。 ☆平野啓一郎、村田沙耶香、茂木健一郎など		○		❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域 話・聞	書	読	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使う。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 **【思考力、判断力、表現力等】** ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 **【学びに向かう力、人間性等】** ・日常の言葉遣いなど言語生活に関心をもち、言語文化に対する関心や理解を深め、国語を尊重する態度を育てる。	総括的評価課題：テクストのモード変換（話し言葉→書き言葉）と解説 ・ポートフォリオの活用 ・模造紙や付箋の活用 ・Google Slideの活用 ・One Driveによる成果物の共有		○		❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	8
	定期考査なし Examination	定期考査なし								
2学期（2nd semester）	**○ことばで人に伝える・人を動かす** **① 宣伝、広告** **【知識及び技能】** ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・比喩，例示，言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使う。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。 **【思考力、判断力、表現力等】** ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 **【学びに向かう力、人間性等】** ・日常の言葉遣いなど言語生活に関心をもち、言語文化に対する関心や理解を深め、国語を尊重する態度を育てる。	●動画、新聞、CM、ネット広告、車内広告などで使用されている言葉と機能、効果を分析、理解する。 総括的評価課題：広告比較分析 ・ポートフォリオの活用 ・模造紙や付箋の活用 ・Google Slideの活用 ・One Driveによる成果物の共有				❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。				16
	定期考査なし Examination	定期考査なし								
	○現代社会と「私」 **【知識及び技能】** ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。 **【思考力、判断力、表現力等】** ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	●姜尚中『悩む力』（抜粋）、内田樹『街場のメディア論』（抜粋） ●「社会」と「アイデンティティ」をキーワードに、現代の論客の論考を読み、その構成や言葉の使い方、スタイル等について考察、分析する。 総括的評価課題：初見テクスト要約・分析 ・ポートフォリオの活用 ・模造紙や付箋の活用 ・Google Slideの活用 ・One Driveによる成果物の共有				❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。				16

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域 話・聞	書	読	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 **【学びに向かう力、人間性等】** ・日常の言葉遣いなど言語生活に関心をもち、言語文化に対する関心や理解を深め、国語を尊重する態度を育てる。					❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。				
	定期考査なし Examination	定期考査なし								
3学期（3rd semester）	**〇ことばで人に伝える・人を動かす** **② マニュアル、ガイド、指導書** **【知識及び技能】** ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。 **【思考力、判断力、表現力等】** ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 **【学びに向かう力、人間性等】** ・日常の言葉遣いなど言語生活に関心をもち、言語文化に対する関心や理解を深め、国語を尊重する態度を育てる。	●「都立国際高校IB部での生活に役立つ」マニュアル・ガイドを作成。ブレストからプレゼンまで。 総括的評価課題：企画書作成 or 言葉だけのマニュアル作成 ・ポートフォリオの活用 ・模造紙や付箋の活用 ・Google Slideの活用 ・One Driveによる成果物の共有				❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。				9
						❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。				9
	定期考査なし Examination	定期考査なし								

総授業時数 Total hours	78